

受付年月日	議長	事務局長	書記
4・12・5			
第 101号	(印)	(印)	関根

写

令和4年12月5日

塙町議会議長 割貝 寿一 様

経済常任委員会委員長 七宮 広樹



所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を下記のとおり実施したので、塙町議会会議規則第77条の規定により報告する。

記

1 調査事件 林業アカデミーふくしま事業及び地域振興・活性化施設の運営状況について

2 調査の経緯

本委員会は、林業アカデミーふくしま事業及び地域振興・活性化施設の運営状況について、担当課からの聞き取りを行うとともに現地調査を行った。

調査日：令和4年10月28日（金）

出席委員：七宮広樹、鈴木元久、鈴木 茂、吉田広明、金澤太郎、割貝寿一

説明員：農林推進課長補佐兼林政係長

職務出席者：議会事務局長、書記

場所：バス車中及び現地（林業アカデミーふくしま、道の駅ふくしま）

3 調査の結果

1) 林業アカデミーふくしま事業について

車中にて林業アカデミーふくしま塙実習フィールドの利用状況について町担当課職員より説明を受けた。その後、各委員からの質問に対し詳細な説明を受けた。

郡山市に今年9月からスタートした林業アカデミーふくしまに到着後、県施設職員より①長期研修と短期研修との二本立て②木を使った新たな研修施設と快適な研修環境③先端機器を活用した研修内容④本県の実態に即したカリキュラムの特色について説明を受けた後、研修棟の各室内と実習棟を周り視察した。

実習フィールドは塙町町有林の他に、妙見山国有林(郡山市)が有り、実習内容で使い分けている。塙実習フィールドでは樹木学・測量、測樹・造林、育林・

倒木、造林・林業機械・架線集材等を学ぶ、既に油圧式架線集材機が設営され技術習得の環境も整ってきたので、利用頻度も徐々に伸びていくと思われる。町の宿泊施設も工夫を凝らしたプランを示し、活性化に繋げる取り組みにも期待する。

2) 地域振興・活性化施設の運営状況について

車中にて、平成 15 年にオープンし平成 25 年に法人化された道の駅はなわの施設、業務の流れ、売上の推移について説明を受け、当町施設の状況を把握した。その後、各委員からの質問に対し詳細な説明を受けた。

福島県内で一番新しい 35 番目の「道の駅ふくしま」に到着後、福島市商工観光部・観光交流推進室の職員より概要・特色・運営・課題と展望について説明を受けた後、施設内の直売所・室内こども遊び場・ドックラン・防災倉庫を周り視察した。

施設の運営は、栃木県宇都宮市に本社を持つ株式会社ファーマーズ・フォレストが指定管理期間 10 年、指定管理料なしで行っていた。集客状況は 4 月 21 日オープンから 10 月 23 日現在で 110 万人が来館し、8 億円の売り上げと聞く、目標の 133 万人・10 億円の売り上げに向け、更に施設の魅力づくりや農業生産者の確保、民間経営のノウハウを積極的に活用し、目標達成への意気込みを感じ取れた。

4 委員報告書

別紙のとおり

写

様式 1

議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書

4年 11月 15日

議會議長 委員会委員長	収受年月日 員長 様 4・11・14	委員長 第 号	事務局長 成	書記 根	提出者 鈴木元久
----------------	--------------------------	------------	-----------	---------	-------------

派遣目的 (調査等 名称)	経済常任委員会所管事務調査				
派遣の 日時	令和4年10月28日(金) 午前 8時~	派遣先 (場所)	バス車中及び現地 道の駅ふくしま、林業アカデミーふくしま		
内容	1. 道の駅ふくしま。 2. 林業アカデミーふくしま事業及び地域振興・活性化施設の運営状況について。				
派遣結果 (意見 及び 感想)	<p>調査のまとめ（道の駅ふくしま）</p> <ul style="list-style-type: none"> 開業 令和4年春 福島県で35番目の道の駅 番新じい道の駅 113.13m²施設特に屋内に子ども遊び場、防災倉庫、ドックラン、又広い駐車場、多目的広場、レクリエーション等を引かれたり。 入場者数も4月21日から10月23日現在で約110万人を上げて約8億円と目標の売上げも達成している。今後更に伸びると思われた。 <p>(林業アカデミー)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設は実習棟と研修棟の二棟、壁や机など県産木材をふんだんに使ってすばらしいと思次、実習棟は天井の部材が三角形につなぎ合せてあり、床々となっていた。 木の伐倒から収穫まで行う重機(ハーベスター)・全国初めて塔乗型で仮想現実機能が付いたジョッキーライダーを導入、測量データーを解説するAIレムもある。 玄関ロビーには日本東京五輪選手村で使われた県産木材を活用したシンボルツリーが飾られています。 研修生は今年度14名 令和5年度を募集しているが10月21日で7名。 11の資格修得に40万円から50万円程度かかる 今後研修生の向題のひとつが、 実習フィールドは郡山の妙見山、猪町の所有林があるが現在妙見山を使用している 今後町活性化の為にも町有林の活用を検討している サポートチームに真名畑林業(有)が含まれていました。 				

議員派遣

調査研修等報告書

収受年月日 書・10・3	委員長 事務局長	書記
第 号	○	○

七宮経済常任
委員会委員長
様



提出者 鈴木茂

派遣目的 (調査等 名称)	経済常任委員会所管事務調査報告書		
派遣の 日時	令和4年10月28日(金)	派遣先 (場所)	バス車中及び現地 (道の駅ふくしま、林業アカデミー)
内容	<p>第1道の駅ふくしまの運営状況及び経営状況について バス車中にて道の駅はなわの施設、業務の流れ、売上の推移について説明を受けその後道の駅ふくしまで市の担当職員より概要の説明を受けてから施設内を視察しました。運営は指定管理者(株)ファーマーズフォレストが行い指定管理料はないとのことです。施設は道の駅本体の他防災棟、ももRabiキッズ(屋内こども遊び場)からなり広大な敷地にあります。集客状況は好調で4月21日オープン10月23日現在110万人来館し8億円を売上げたそうです。目標は133万人、10億円となっています。今年はオープン当初であり、これから施設の魅力づくりや農業生産者の確保など課題に取り組んで行きたいと説明がありました。</p> <p>第2林業アカデミーの事業及び運営状況について 車中にて林業アカデミーふくしまの塙実習林の利用状況について町担当課の職員より説明を受けました。その後郡山の林業アカデミー研修館を視察しました。</p> <p>アカデミーは林業に携わる担い手が減少していることから若い人に基礎から学んでもらい、本県林業従事者の中核になって貢うために定員15名で開校したそうです。学ぶ内容は林業に関する知識、技術、資格、インターンシップであり短期と長期研修に分かれて行っています。実習フィールドは郡山市の妙見山と塙町にあり、妙見山は下刈り除伐の実習など塙町は架線集材です。カリキュラムは樹木学、木材加工、林業ICT、森林GIS、最先端の森林技術(重機等)などと説明を受けました。最後に研修棟、実習棟の中を説明を受けながら視察しました。以上報告致します</p>		

收受年月日	委員長	事務局長	書記
4・10・3/			
第 号	議員派遣 委員派遣	根調	査研修等報告書

様式 1

令和 4 年 10 月 31 日

七宮 広樹 経済常任委員長



提出者 吉田 広明

派遣目的 (調査等 名称)	経済常任委員会事務調査報告書		
派遣の 日時	令和 4 年 10 月 28 日	派遣先 (場所)	林業アカデミーふくしま
内容	1、道の駅はなわの施設の状況について 2、林業アカデミーふくしま実習林について		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	1、道の駅はなわの施設の状況について 平成 15 年に開店し平成 25 年に法人化となる。現在登録名簿 257 名の会員数があり、出荷者の高齢化による売上減少も危惧される中、直近の売上は増加傾向と説明を聞くが、議員派遣での道の駅ふくしまの視察も合わせた感想としては、商品構成やパッケージデザイン、レイアウトなど、売上比較をする以前の店舗対策を求めなければならないと感じる。老朽化に伴う改装時期が来ているので、総合的な見直し、早急な検討が必要を感じる。 2、林業アカデミーふくしま実習林について 実習フィールドとして、塙町以外に妙見山国有林（郡山市）があり、伐採時期に適していないので、測量、測樹、下刈り、除伐などの研修目的とし、塙町笹原財産区林は、造林、伐採、測量、機械操作、架線集材操作などを考えている。油圧式架線集材機（3,000 万円県購入）の機械は設営してあるが、近年の民間での伐採作業には、高コストの為にこれらの機械導入には一昔前だと林業関係者からの話を聞く。今後の課題は、伐採実習回数と伐期本数の相関関係が噛み合わない事や湯遊ランドでの宿泊回数増などである。一方、郡山の校舎は充実した環境が整っている。11 資格取得やシミュレーターでの模擬操作、運搬用大型ドローン操作、3D レーザースキャナ習得などがあり、最新の林業に取り組み易い設備の充実が図られている。国内唯一の放射線教育は、日本原子力機構・福島県環境創造センターと連携し県内の森林状況なども学んでいる。研修期間 1 年、定員 15 名程度、研修費 118,800 円、給付金制度 1,200,000 円（対象年齢 45 歳未満）などである。研修後を見据えて、年間 21 日間のインターンシップ（内、9 日間は職場体験）も設けられている。なお、笹原財産区の使用に関しては、無償での貸付である。		

写

様式 1

議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書

令和4年11月11日

議会議長受年月日	委員長	事務局長	書記
委員会委員長・ 第 号	IPX	(藤 放)	(関 根)

提出者 金澤 太郎

派遣目的 (調査等 名称)	経済常任委員会所管事務調査		
派遣の 日時	令和4年10月28日 8時00分より	派遣先 (場所)	バス車中及び現地 (道の駅ふくしま、林業アカデミー)
内容	1) 林業アカデミーふくしま事業及び地域振興・ 活性化施設の運営状況について 他 道の駅ふくしまの運営状況の視察		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	1) 林業アカデミーふくしま 長期研修生受け入れ初年度の本年度については、15名の定員に対し、 研修開始前に辞退した方を除き 14名の研修生受け入れをしており、順調 な滑り出しとなっている状況の説明を受けた。当町出身者も在籍している とのことで、農林業が主要産業である当町の人材育成確保に今後期待でき る施設である。 森林再生による間伐で活況を呈している林業であるが、アカデミーで育 成された林業者が生涯の生業として植林・育林・伐採と連綿と山を継いで いける人材が育ってくれることを願う。特に山は、SDGs の観点からも 重要な資源であり、継続させる力をつけるためには是非継続的に、林業者 の育成に努めてもらえるよう、実習林を提携している塙町としても、提案 型で協力していくことが何かできる可能性が大きくあると感じた。		

他 道の駅ふくしまの運営状況

指定管理料を発生させない条件で管理者募集し、現在の指定管理者に至った説明を受けた。初年度売り上げ目標 8 億円は達成済とのことであるが、施設規模から、当初想定より電気代等の管理費が大幅に増える見込みの現状であっても、今年度末までの売り上げの積み増しで想定通りの収益の確保が可能と見受けられる。

指定管理料が発生しないことは、行政としては歓迎すべき事と思う。指定管理者の説明が欲しかったところではあるが、今後の運営を注視していきたい。

完全民営のため、様々な企画を展開していると聞いた。当町でも、管理者が収益を確保することに前向きになることが道の駅存続に欠かせないファクターの一つであることを改めて認識した。

以上

議員派遣
委員派遣

調査研修等報告書

令和 4 年 11 月 24 日

議論書月日	委員長	事務局長	書記
委員会委員長	様		
第 号	成	根	

写

提出者 増田 駿一

派遣目的 (調査等 名称)	経済常任委員会所管事務調査		
派遣の 日時	令和 4 年 10 月 28 日	派遣先 (場所)	道の駅ふくしま 林業、アカデミーふくしま
内容	1. 道の駅ふくしま運営状況 2. 林業、アカデミーふくしま事業		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>1. 高速交通網の整備の背景にあり道路管理者との 一体型整備工事で敷地面積 27,562m² の施設 屋内: ピラミッド型、防災倉庫を備える。 総工費 32 億円、年間目標 入館者数 133 万人 売上 8 億円 (10/3 現在達成) 指定管理者は福島県宇都宮市 (株) フィーマース・フォレスト (期間 R4 年 ~ R13 年度)</p> <p>2. 木材加工技術を取り入れた研修棟と美濃木からなる 総工費 9 億 2 千万円の施設 就業前長期研修と短期研修がある 長期で現在 10 歳と 20 歳 (11 人) 30、40、50 歳 (1 人づつ) 計 14 名が受講している 施設が美濃木一棟にならず、いろいろな木立木が多く 研修生の技量では難いところから車で 20 分のところに ある妙見山美濃木一棟を使ってる。 研修受講料は 118,800 円 保険、作業服等 支費負担は 15 万円程度 給付金制度 120 万円程度 (要件として 45 歳未満で林業、分野へ就職)</p>		